

【本時プラン変更の理由】

「① 触れたもの、見ていることを表現する。」という活動は5回計画で進めていた。初めは、触れたもの、見たことに注意を向けており、精一杯の言語表現をしていると思われた。しかし、数回指導を進めるうちに、本児は指導者に求められることを話そうとするが、思うように応えられない思いを抱いているのではないかと感じた。実態に合わない難しい課題になっていると思われた。また、「おれもしてみたい。」という反応から、本児が見るだけでなく、自分で動く活動を仕組みたいと思った。

次に、二つの活動の反応を示す。

これ、何？ だって、～だからの反応……フォークを「ジグッてさした。」、きゅうりの先端の突起を「うえ、ちっちゃかった。」、ランドセルの蓋の留め具、背中のカッションを「カチャカチャした。ブニブニした。」歯ブラシのブラシ部分を指で倒して戻して「こうでもできる。」

よく見て、発見！ 何していた？の反応……キャラクターを描いた一連の動きを「はなかつぱちゃんのお友達、かいた。」「袋(封筒)に入れた。」きゅうりの板摺り場面を「グリグリした。」折り紙で折るなどの一連の動きを「紙にとって、三角して、はりつける。」「こうやった。(折り紙の束をパラパラとめくって赤い紙を取り出したことを動作化)」風船を使った動きを「ビョーンってしてる(風船を引っ張って伸ばした)。息止めた(吹き込んだ)。ふくませた(膨らませた)。」「ふうせんやりたい。」と欲しがった。

5 本時の授業プラン 16 時間目

(1) 本時の目標：単音節[ち]を、「ち」と認識しながら正しく言うことができる。

活動を理解し、ゴールのイメージを共有し、一緒にできた達成感を味わう。

(2) 本時の学習計画

主な学習活動	主な教師の指導・支援 (□)、評価 (★)
<p>① 協同してやり遂げる</p> <p>ぼくもせんせい「先生の言う通り」 同じ模様を作ろう</p> <p>② 正しい[ち]を言う。</p> <p>色々な「ち」を言おう。 ゲームで練習しよう。</p> <p>③ 短期記憶して、問いに答える。</p> <p>「〇、〇、〇、〇、今言った中で……」 は、どれだ？」</p>	<p>□前時に知った「つまさき」を含め、体の部分数か所を、触る、曲げるなど、指示に合わせて動く活動を行う。役割を交替して、本児が言ったとおりに指導者が動くようにする。</p> <p>□指導者が六面体をつなげて作った模様を示し、二人が児童役で同じに作る。次に、本児が先生役になって行い、どちらが早くできるかを競う設定だが、本児の作業速度に合わせるようにする。</p> <p>★本児が与えられた設定を理解し、相手を操作し、関わりを楽しみながら、達成感を味わうことができたか。</p> <p>□目指す舌の構えなどのポイントや正誤の音の違いのイメージを視覚的に示して伝える。</p> <p>□子音に戻る、音をつなぐなどを繰り返しながら、正しい構音の感覚がつかめるよう、正誤の評価を伝えていく。</p> <p>□すぐ注意を向けられたこと、集中が続いたこと、正誤を意識できたこと、正しい音が出せていることを、表情豊かに伝える。</p> <p>★「ち」と認識しながら[ち]を正しく言うことができたか。</p> <p>□絵カードを見せて、ことばを確認し、それを隠してから、問う。知らない言葉があれば除く。</p> <p>□絵カードなしで、聞くだけで覚え、答える。覚えることばの数を3から4に増やす。必要に応じて短期記憶の手がかりを支援する。</p> <p>□答えたクイズの中から、母親に出題するクイズを選ぶ。</p>